

KIA 30th Anniversary

KOKUBUNJI International Association

国分寺市国際協会

創立30周年記念誌

目次

ご挨拶

国分寺市国際協会会長、国分寺市長	2
------------------	---

全体活動

全体活動は、KIAの部会の枠を超えて、実行委員会を設置するなど会全体として取り組む活動です。

国際交流フェスタ、マリオン市との交流	3
国分寺まつり、その他の主な全体活動	4
外国人のためのリレー専門家相談会	5
日本語地域連携連絡会	7
EKIMAE塾	8

部会活動

KIA会員は活動ごとに部会に分かれて活動しています。現在、5つの部会があります。

国際理解部会	9
外国語部会	10
交流支援部会	11
日本語教室部会	13
: 日本語支援ボランティア養成講座	13
: 日本語教室【昼】	15
: 日本語教室【夜】	19
広報部会	21

サークル活動

KIAは、KIA会員が自主的に立ち上げたサークル活動をサポートしています。

現在、2つのサークルが活動しています。

世界の家庭料理を楽しむ会 (※「世界の家庭料理を楽しむ会」は2021年度をもって、活動を終了しました)	23
国際協会合唱団	24

10年の記録、他

10年の歴史	25
10年の歴代役員	27
10年間の市在住外国人推移	28
組織・体制、年会費、賛助会員紹介	29
編集後記	30

※ 本文中のKIA(キア)は、国分寺市国際協会 (Kokubunji International Association) の略称。

※ 本文中の氏名は敬称略。

真の多文化共生社会を目指して

国分寺市国際協会会長 小田 登志子

国分寺市国際協会が設立され、30年が経ちました。協会の活動を支える会員の皆様の日頃の貢献に対し、改めて敬意を表します。

この30年の間に、国分寺市の国際化のあり方は大きく変化しました。協会設立当時は、国分寺市と豪マリオン市との姉妹都市提携が行われるなど、外へ向かっての国際化が注目されていました。その後「日本語支援ボランティア養成講座」が2005年に始まりました。そして「外国にルーツのある児童・生徒の日本語・学習サポーター養成講座」が2013年に開始されました。国分寺市の外国籍人口は、2020年に始まったコロナ禍にもかかわらず横ばい傾向を保っています。国分寺市の国際化はすでに「内

なる国際化」へと大きく舵を切り、外国ルーツの人々を交えた光景は市民の日常生活の一部となりました。

次の30年に向けて、私たちはどのように歩むべきでしょうか。外国ルーツの人々は広く障がいのある方や性的マイノリティの人々をも含めた多様性の一部として捉えることができます。多様な人々との共生の輪を広げ、だれもが対等な構成員として歓迎されると同時に、さまざまな活動に参画可能な地域社会の創造を目指し、会員の皆様と共に歩んでいきたいと思いを。



第10回 - 第110回 - 第120回 - 第130回 - 第140回 - 第150回 - 第160回 - 第170回 - 第180回 - 第190回 - 第100回 - 第110回 - 第120回 - 第130回 - 第140回 - 第150回 - 第160回 - 第170回 - 第180回 - 第190回 - 第200回 - 第210回

国分寺市国際協会創立30周年に寄せて

国分寺市長 井澤 邦夫

国分寺市国際協会の創立30周年、またこの節目に記念誌を発行されますことを心よりお慶び申し上げます。

貴会の運営を担ってこられた会長はじめ役員の方々、また地域での多文化共生事業を永年支えてこられた会員の皆様の御尽力に改めて感謝と敬意を表します。

市では、令和3年12月10日の世界人権デーに「国分寺市 すべての人を大切にするまち宣言」を制定いたしました。「すべての人が個人として尊重され、互いの立場や意見を認め合い、助け合う」というこの宣言の理念は、多文化共生の定義である「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員とし

て共に生きていくこと」と重なります。市のまちづくりの最上位計画をなす「国分寺市総合ビジョン」における「国分寺市ビジョン実行計画」においては、「多文化共生」を位置づけ、地域に暮らす外国人の方々を支援し、交流を深める施策や取組みを掲げています。これらの施策を進めていくには、貴会との協働・連携が不可欠です。これからも貴会とともに、市民への啓発、理解促進に向けて多文化共生施策を推進してまいります。

結びに、国分寺市国際協会の今後益々の御発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



国際交流フェスタ

「国際交流フェスタ」は、国際交流・国際理解を目的とする、KIAの主催イベントです。毎年10月から11月にかけて開催される「国分寺市民文化祭」（市内のおよそ20の文化団体による芸術・芸能文化活動の祭典）に参加する形でを行っています。

2012年度と2013年度は休止したものの、2014年度から2019年度までは、KIAの日本語教室の学習者によるスピーチ大会、アトラクション、クイズなどさまざまな企画を立て、実施。KIAの中に実行委員会を作り、年度によっては東京経済大学の学生さんの協力も得て、毎回会場は大盛り上がりでした。

2020年度、2021年度とも、KIAの事業計画として実施を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民文化祭への参加を見送り、中止としました。



※10月・11月・12月・1月・2月・3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月

マリオン市との交流

マリオン市（オーストラリア）は、国分寺市の姉妹都市。2013年の姉妹都市締結20周年を記念して、当時のルイス市長他4名の交流使節団が4月に来日。歓迎行事を開催したほか、都内観光や東京経済大学への表敬訪問、さらにおよそ80名の参加者による同大学での歓迎パーティなど交流を行いました。

この使節団訪問を契機に、翌年の2014年から2016年にかけて、ルイス市長やマリオン市教育関係者を国分寺市にお迎えし、交流・交歓会や講演会などを催しました。



マリオン市は、東京から約8,000キロメートル南、南オーストラリア州の州都アデレードから車で20分ほどのところにあります。国分寺市とは赤道をはさんでほぼ対称に位置しているため、時差は+30分ですが、季節はまったく反対になります。

- 面積：56平方キロメートル（国分寺市の約5倍）
- 人口：約95,000人（国分寺市の約75%）

※ 上記の地図、説明文とも、国分寺市ホームページより。

国分寺まつり

「国分寺まつり」は、毎年11月のはじめに開催される市民祭りです。目的は、ふれあいを大切にし、地域産業と市民生活のかかわりを深めること。たくさんの模擬店が出店し、パレード、ステージコンサートなどのさまざまなイベントが繰り広げられ、多くの来訪者でにぎわいます。

KIAは、市民の皆さんとの接点や交流の場をつくり、もっと理解を広げるために2019年度まで参加しました。

出し物として、ラベンダースティック、匂い袋、とうがらしリース、和紙のしおり人形、ドライフラワーリースなど会員の手作りの品や会員からのバザー品の販売、またKIAならではの

国際理解クイズなどを行ってきました。

KIAの事業を見直す中で検討が加えられ、2020年度からは参加を取りやめることとなりました。



01/01 - 01/02 - 01/03 - 01/04 - 01/05 - 01/06 - 01/07 - 01/08 - 01/09 - 01/10 - 01/11 - 01/12 - 01/13 - 01/14 - 01/15 - 01/16 - 01/17 - 01/18 - 01/19 - 01/20 - 01/21 - 01/22

その他の主な全体活動

◆市民活動フェスティバル〈2012年5月20日、2014年4月20日〉

市内で市民活動をしている団体とのネットワーク作りとKIAの活動をアピールすることを目的に参加。会員手作りの折り紙はがき、しおり人形などを販売。

◆市文化振興課共催「cocobunjiプラザ開館記念イベント」へ協力〈2018年4月6日〉

cocobunji（ココブンジ）プラザの開館を記念したさまざまなイベントが開催され、KIAは「世界の音楽と踊り」を開催。インド古典武術“カラリパヤトゥ”、メキシカンダンス、琉球舞踊のグループがパフォーマンスを披露。最後は来場者と一緒に輪になって踊りました！

◆国分寺青年会議所主催「Bunji Global Festa」に協力〈2016年8月27日、2017年7月29日、2018年9月8日〉

武蔵国分寺公園（2016年は国分寺市立第四小学校校庭）で開催されたBunji Global Festaに協力。さまざまな団体がブースを出し、活動のPRや物品・食品販売をしました。KIAは、外国の方々と交流できる「おしゃべりサロン」を担当。KIAブースにはたくさんの方がいらっしゃり、ブースに収まりきれないほどでした。



Bunji Global Festa 2018

外国人のためのリレー専門家相談会

はじめに

外国人のためのリレー専門家相談会は、外国人が母語の通訳を通して無料で相談できる相談会です。東京外国人支援ネットワーク（都内外外国人支援団体や自治体など約40団体）が弁護士や行政書士などの専門家と連携し、2002年、都内9か所で開催したのがスタートです。現在では開催場所も十数か所に増え、都内の市や区の会場を一年を通してリレーするように順番に開かれています。

KIAは2006年から参加。国分寺市での相談会開催を主催し、2019年の開催で14回目を迎えました。

相談会当日の運営もさることながら、当日を迎えるまでかなりの準備と時間をかけながら取り組んできています。これまでご協力いただきましたスタッフの皆さまには、心から感謝申し上げます。

このような事前の準備も含め、以下流れに沿って相談会を再現してまいります。

野分10組 - 野分10組 - 野分20組 - 野分30組 - 野分40組 - 野分50組 - 野分60組 - 野分70組 - 野分80組 - 野分90組 - 野分100組 - 野分110組 - 野分120組 - 野分130組 - 野分140組 - 野分150組 - 野分160組 - 野分170組 - 野分180組 - 野分190組 - 野分200組 - 野分210組

<準備>

毎年KIA総会後の5月から実行委員会がスタート、総務、研修、広報の3分科会に分かれ秋（10月）の相談会にむけて細かいスケジュールのもと、右の表のような準備に着手し、毎月1回全体会議を開き相談会を開催します。

● 3分科会の主な準備作業 ●

総務
<p>専門家（弁護士、行政書士、社会保険労務士、労働相談員、臨床心理士、行政一般相談員等、年によって多少異なりますが大体7分野の方々約10名）の依頼、通訳ボランティア（英語、中国語、スペイン語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、2014年よりベトナム語等、年によって多少言語は変わりますが約8言語18名）や、スタッフ約10名の募集、会場の確保、レイアウトを描き人々の流れを想定するなど準備します。</p>
研修
<p>相談会の約1か月前に専門家の方を招いて、運営スタッフ、通訳ボランティアの研修、ならびに相談会ロールプレイの計画等の準備をします。</p>
広報
<p>相談会のチラシ（約5,000枚）ポスターの図案作成、各機関への宣伝、また相談会の約1か月前に立川入国管理局前でのチラシ配布等をします。</p>

<会場・受付時間>

- 会場は、2018年までは国分寺駅南口にある国分寺労政会館4階、2019年からは国分寺駅cocobunji（ココブンジ）プラザのリオンホール。
- 受付時間は12時30分から15時30分まで。（スタッフは10時頃から会場設営等を準備）

告知チラシ（2019年度）

これまでを振り返って

2012年からの10年を振り返ると、年々日本に在住する外国の方々が増えており、と同時に相談事も増加していると思われます。しかし、相談会を訪れる相談者の数は都内の他の相談会でもあまり増えることもなく特に変化はありません。これは近年、同国人同士のコミュニティが増え、そのきずなを通じてお互いに問題を解決しているのではとも考えられます。

2020年度から活動を休止

KIA主催による国分寺市での相談会には、累計104人の外国人の方が相談に訪れました。しかし、相談者数の伸び悩みに加え、外国人対象の他の相談窓口も増えてきたこともあり、2019年度の開催をもってKIAとしての活動は休止しました。

とは言え、問題を抱えた外国人が一人でもいらっしゃる以上、今後も何らかの形でKIAがその解決のお手伝いできればと願っております。

<当日>

- 会場を訪れた相談者は、「何かお困りのことはありませんか?」の呼びかけを受け、受付へ。受付で希望言語の通訳ボランティアと顔合わせをし、通訳と共に相談ブースに入ります。
- 通訳ボランティアは相談事を聞きまとめ（約15分）、マッチング係に伝達。マッチング係は別室に待機中の専門家に相談事を伝え、専門家は相談者と通訳が待つブースに入ります。相談時間は約30分としていますが、多くは時間内には終わりません。
- 相談者が途切れた場合には、待ち時間を利用して専門家にミニ講座を開いていただくこともあります。
- すべての相談が終了したあと専門家、通訳、スタッフ全員が集まって、次回の参考のために相談会の報告・感想等フィードバック・ミーティングを開きます。会場整理後、17時までには撤収します。

● 2012-2019年度の実績 ●

年度	国・地域数	相談者数
2012年度	10	19名
2013年度	8	9名
2014年度	10	17名
2015年度	7	14名
2016年度	7	10名
2017年度	6	12名
2018年度	6	12名
2019年度	6	11名

日本語地域連携連絡会

日本語地域連携連絡会のスタートは、2006年度に文化庁から委嘱を受けた「地域日本語教育支援事業（連携推進活動）」がきっかけです。

日本人、外国人ともに安心安全で暮らしやすい地域づくりを目指すため、地域のさまざまな団体と情報交換し、年1回、懇談会「みんなで話そう考えよう」を実施してきました。

この懇談会では、年に数回開催する連絡会で話題に上がった、外国の方々が今抱えている問題について取り上げたり、2016年度には都立多摩図書館が国分寺市に移転することに伴い、東京都教育委員会と共催で外国の方から好きな本を紹介してもらうなど、バラエティーに富んだテーマで開催してきました。

結成から十数年が経ち参加する団体が少なくなっていること、また発足当時と比べ団体間の連携が強まってきていることなどから、連絡会は2020年度より活動を休止しています。



● 日本語地域連携連絡会－懇談会 ●

年度	日程	イベント名（テーマ）	講師	会場
2012年度	2013年 3月16日	異国での子育てパートⅡ －今、学校で、地域で－	<ul style="list-style-type: none"> 中国、ベトナム、ペルー出身市民4名 スクールソーシャルワーカー 	本多 公民館
2013年度	2014年 3月15日	各国の子育て事情	<ul style="list-style-type: none"> 韓国、ベトナム、ロシア、フィリピン、 日本出身の市民 	本多 公民館
2014年度	2015年 3月14日	世界の冠婚葬祭から多文化共生を 考える	<ul style="list-style-type: none"> マレーシア、中国、ネパール、モルドバ、 オランダ出身の市民 	本多 公民館
2015年度	2016年 3月12日	都市の中の生活の安全－自転車の 安全走行と各国の自転車事情－	<ul style="list-style-type: none"> インド、台湾、ベトナム、マレーシア、 モルドバ出身の市民 	本多 公民館
2016年度	2017年 2月19日	世界の読書文化 －私の好きな一冊－	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ、ベトナム、マレーシア、中国、 ペルー、アフガニスタン、モルドバ出身 の市民11名 	都立 多摩 図書館
2017年度	2018年 3月24日	世界のお弁当の違いを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> 菅原雅枝（東京学芸大学国際教育セン ター准教授）、スピーカー7名 	本多 公民館
2018年度	2019年 3月9日	もし地震が起きたら －外国人といっしょに防災を考えよう－	<ul style="list-style-type: none"> 市の防災安全課職員 高木町自治会長 	本多 公民館
2019年度	2020年 1月18日	メディアリテラシーと多文化共生 －地域コミュニティ実践の可能性－	<ul style="list-style-type: none"> 鳥海希世子（東京大学特任助教） 	本多 公民館

EKIMAE塾

「EKIMAE（えきまえ）塾」は、「現代を生き抜く知恵」をコンセプトに、各分野で活躍された会員の方から1時間程度お話をうかがい、それをもとにしての質疑応答など、参加者同士が交流するという異世代・異文化交流の場です。スタートは2007年度。

2017年度から国際理解部会が運営してきましたが、役割を終えたとの判断により、2018年度、35回目となる開催を最後に閉塾となりました。

講師ならびにご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

● EKIMAE塾（年に1～3回の開催）●

年度	イベント名（テーマ）	講師（経歴等*当時）
2012年度	武蔵国の天神と地祇	小河原 通（古代史〈日本・世界〉・比較言語学研究者）
	『香港』その魅力は!!	菊地 英爾（元大手電機メーカー香港駐在員）
2013年度	私の終戦前後	西谷 清（元会社役員）
	人生を吟じる - 詩吟に魅せられて -	宇田川 靖（流通経済大学顧問）
	曲がり真っ直ぐの人生	近藤 裕（国分寺市財産価格審議会会長）
2014年度	ベトナムの象と私	新村 洋子（ベトナムのアジア象保護 ヨックドン森の会代表）
	人生におけるタイミング - 銀行員から大学教授へ -	飯田 勝人（元帝塚山大学教授）
	私のふるさと前橋	遠藤 恭子（KIA日本語教室部会スタッフ）
2015年度	国際交流基金『日本語パートナーズ』に参加して	大長 真美（「日本語パートナーズ」タイ 1期生）
	社会福祉士の仕事について	水田 眞比呂（社会福祉士）
	「やはり」のドイツ、「まさか」のドイツ - 近代日本の鏡像 -	渡邊 尚（元東京経済大学教授、元KIA会長）
2016年度	映画“Don't Burn”と『トゥイーの日記』	木谷 八士（日本ベトナム友好協会東京都連会長） 村山 良忠（ジャパベトナム会員）
	大学教師生活40年を顧みて - ダイヤモンド研究への道程と大学生就職支援 -	春名 勝次（元玉川大学教授）
	産業・事業の成長・発展活動と構造転換への挑戦 - 事業継続に関する実務展開と事業環境対応 -	飯島 俊文（経営・環境コンサルタント）
2017年度	私の趣味としての謡曲	堀 滉浩（国分寺市謡曲連盟会長）
	研究教育上の英語による国際交流 - 私の実践 -	陣内 良昭（東京経済大学教授、元KIA会長）
2018年度	赤ちゃんの微笑みに秘められた謎	高橋 道子（東京学芸大学名誉教授、KIA副会長）



国際理解部会

国際理解部会は、当協会会員だけでなく、広く市民が国際理解に関心をもち、理解を深める活動をするために設けられた部会で、部会の主な活動として毎月1回の定例部会と年4回の国際理解講座があります。部会員は6名で女性4人、男性2人です（2021年度末現在）。

国際理解部会としてここ10年間での大きなできごとは、長年部会長として部会活動を指揮し、当協会の副会長・運営委員長を務められた藤井宏さんが急逝されたことです。藤井さんは積極的な部会運営や、亡くなる直前まで国際理解講座の講師招聘を一手に引き受けられるなど、当部会には無くてはならない方でした。突然他界されたいへん残念です。

当部会のメインの活動である国際理解講座は、当協会設立の2年後、1993年に開始し、2003年の第31回から「世界を知ろうシリーズ」というテーマを設けて、世界各地の文化、歴史、社会情勢などを学び、概ね1年に4回開催し、2021年までで96回を数えています。講師には各国の事情に詳しい専門家を招き、現地で得た生の情報や体験をもとに、その時のタイムリーな話題について講演を聴き、そのあとに質疑応答をして理解を深める講座です。今後も続けていきますので、ぜひご参加ください。



● この10年間に開催された 主な講座の地域別テーマ ●

アジア地域
<ul style="list-style-type: none"> ・「変貌する大国インドの現状」(第66回) ・「日本の領土問題」(第71回) ・「日韓文化交流の新段階」(第72回) ・「東アジアの動向と日本の今後」(第78回) ・「中国の対外関係」(第84回)
ロシア
<ul style="list-style-type: none"> ・「ロシアと日本の文化比較」(第77回) ・「日本語専門家のみた日ロ交流史」(第90回)
米国
<ul style="list-style-type: none"> ・「米国新大統領の外交政策と対日政策について」(第83回) ・「米バイデン政権の行方」(第96回)
南米地域
<ul style="list-style-type: none"> ・「大国ブラジルの明と暗」(第70回) ・「南米縦断 多様な民族と人々の生活」(第80回)
ヨーロッパ地域
<ul style="list-style-type: none"> ・「EUの中核、ドイツの現状と問題点を多面的に見る」(第69回) ・「逃げ水のヨーロッパ」(第94回) *この講座の講演者はKIA元会長の渡邊尚さん
中東地域
<ul style="list-style-type: none"> ・「中東の変動を構造的に理解する」(第75回) ・「混迷するトルコと中東の現在」(第81回) ・「深まる中東の危機 内戦、国家の解体、拡散するイスラム過激テロ」(第87回)



写真はいずれも、2021年12月開催の講座から

外国語部会

KIAでは、市民の皆さんの国際交流・国際理解の後押しの一つとして、設立当初より語学教室を運営してきました。外国語教室運営部会から名称変更し外国語部会となり、語学教室の運営だけでなく、外国語セミナーの開催、手紙交流プロジェクトなども担ってきました。

◆外国語セミナー「英語で語る易しい文化論」(イングリッシュ・セミナー)〈1997年開始〉

スタート以来、外国人講師を招いて、年2回のペースで開催。講師が日本の生活で感じた自国と日本の文化の違いや、出身地の紹介、講師の研究分野、関心のあることなど、さまざまなテーマでセミナーを行っています。

◆英会話教室(成人/子ども)〈1992年開始、2009年～15年休止、2016年再開〉

成人英会話教室は初中級者対象。子ども英会話教室は小学生対象。両教室とも外国人講師の熱意の下、受講者は熱心に受講しています。

◆海外手紙交流プロジェクト〈2007年～2017年〉※2018年から休止

国分寺市の姉妹都市オーストラリアのマリオン市近郊の小中学生と、国分寺市の小中学生との交流プロジェクト。子どもたちは自己紹介や自分が住んでいる街の紹介、好きなこと、趣味、絵などを書いた手紙を交換しました。

◆イングリッシュサロン〈2011年～2017年7月〉

米国出身の会員をホストに、月2～3回、英語でさまざまな話題やおしゃべりを楽しみました。

※ 外国語部会は、2020年度からは部会活動が休止となったため全体活動として実施した。

◆中国語講座〈2014年開始〉

中国からの留学生(大学院生)が講師となってスタート。その後、講師が2人代わり、現在は3代目の講師。語学教室というより、サークルのような雰囲気、和気あいあいと楽しく学んでいます。次に使うテキストなども講師、受講者が一緒に相談しながら進めています。



◆ニュースで学ぶリアルな英会話〈2018年2月開始〉

それまでのイングリッシュサロンを一新、装いも新たに中上級者対象「ニュースで学ぶリアルな英会話」がスタート。アメリカ人講師により、米国CNN放送のニュースやネイティブが日常使うイディオムを題材に「チョット手強いがリアルな英語が学べる」内容。キャンセル待ちも出る人気講座です。



交流支援部会

はじめに

交流支援部会のルーツは1998年度の交流部会と外国人支援部会の発足にあります。その後幾度かの体制の見直しを経て今にいたっています。

まず、2000年度に両部会は交流支援部会として統合されました。2005年度には、外国人との「交流」と「支援」というそれぞれの活動の専門性を重視し、活動をより円滑に行えるように交流部会と協力支援部会に分かれました。

そして2013年度には、二つの部会の活動の見直しとスリム化をはかるために、交流部会と協力支援部会が再度統合され、その名称としては二度目となる交流支援部会が誕生しました。

交流支援部会では市民の皆さまにKIAの存在と活動の趣旨をご理解していただくため、多くの交流・支援の活動や企画を実施・開催しています。

[1998年度](#)・[1999年度](#)・[2000年度](#)・[2001年度](#)・[2002年度](#)・[2003年度](#)・[2004年度](#)・[2005年度](#)・[2006年度](#)・[2007年度](#)・[2008年度](#)・[2009年度](#)・[2010年度](#)・[2011年度](#)・[2012年度](#)・[2013年度](#)・[2014年度](#)・[2015年度](#)・[2016年度](#)・[2017年度](#)・[2018年度](#)・[2019年度](#)・[2020年度](#)・[2021年度](#)

◆ウェルカムサロン

孤立しがちな外国人が地域と結びつき、日本での生活を豊かにし、日本人が地域にいる外国人との交流を図るためのサロンです。



ウェルカムサロン

◆親子日本語サロン

外国人市民から、子ども連れで参加できる日本語教室を望む声が寄せられ、2013年度から開催。

コロナ禍で新規受入ができず、休止していた中で立ち上げたのが「おしゃべり会」。この会では、オンラインも使い、日本人のママさんと外国人のママさんたちが月一回のペースで、子育てを中心に日本文化や習慣などについておしゃべりをし、多岐にわたり楽しく、有意義なひと時を過ごしています。



親子日本語サロン

◆外国人おかあさん交流会

外国人のママさんが抱える育児の悩みなどを気軽に相談できる場所づくりが目的で料理を作りながら日本のママさんたちと交流しました。2013年度～2016年度まではスペシャル企画として「夏祭り」を開催しました。（2020年度からは親子日本語サロンと統合）

◆世界をEnjoy!!

本多公民館が行っている異世代交流事業への協力活動です。子どもたちと地域の外国人と楽しく交流しながら文化を学び、国際交流をしています。

◆市内小中学校の国際理解授業へ協力

市内小中学校からの依頼で、KIAに所属する外国人が国際理解授業に協力。自国を紹介し、子どもたちと学びながら楽しく交流します。



九小サマースクール(ベトナム)

◆日本語・学習サポーター派遣

日本語が不十分なため学校の勉強がわからない外国ルーツの子どもたちに、小中学校からの要請を受け、日本語や教科学習のサポートをしています。(2021年度から市の委託事業)

◆サポーター養成講座(※)

2013年度より、サポーターの裾野を広げ、スキルアップを目指すため、サポーター養成講座を開催しています。東京学芸大学国際教育センター、YSCグローバルスクール等の協力を頂き、基本的な知識に加え、異文化理解のゲーム、やさしい日本語、実践指導など行っています。

(※) 講座の正式名称：

- ・「外国にルーツのある児童・生徒の日本語・学習サポーター養成講座」(2020年度まで)
- ・「外国籍等の児童・生徒の日本語支援サポーター養成講座」(2021年度)

◆こいがくほ国際教室

恋ヶ窪公民館とKIAが協力し、市内の小中学校に通う外国ルーツの子どもたちの学習をサポートする「こいがくほ国際教室」は2019年7月から始まりました。国際教室は、年間108時間の日本語指導員による指導が終了した子どもや、6か月の学習サポーターが終了した子ども

など、援助が届かない海外ルーツの子どもたちが、自分で必要を感じて来室できる教室です。これからも子どもたちの支援の場として発展していければと思っています。

◆東京経済大学国際交流へ協力

他団体への協力として、2006年度より始めた取組です。東京経済大学国際交流課アジア短期留学生を対象に、日本の伝統文化の体験や、皆で日本食を作り、おいしくいただくなどの楽しい交流を行っています。また、留学生がKIA会員宅を訪問をするホームビジット体験も行ってきました。

◆外国籍保護者のための小学校入学ガイダンス

2011年度に国分寺市文化のまちづくり課主催「外国人子育て支援会議」の中で、学校についての情報を要望する声が多く、2012年度に日本の小学校について説明する「外国籍保護者のための小学校入学案内」を作成。また、説明会を年2回開催しました。

入学案内には現在では英語版、中国語版が加わりました。説明会は、担い手不足のため2020年度から休止しています。

「お母さん交流会」誕生秘話

ある日、外国人ママから子育ての悩みを聞かされ、またある日、忙しい母にかわって孫の面倒を見ている外国人おばあちゃんから悩みを聞かされ、今度は新米ママから、ワタシノアカチャン、ダイジョブ？ ホントチガウ、ダイジョブ？ 何が違うって？ …… 「このようなことがあります」と部会で報告するや否や、「お茶会しよう」。「それらの人を招いてお茶会をするのだ！」「子どもも必ず連れて来るのだ！」。こうして、2007年「外国人お母さん交流会」が誕生しました。

日本語教室部会： 日本語支援ボランティア養成講座

「日本語支援ボランティア養成講座」は2005年度に始まり、2019年度を除き毎年続けてきて、本年2021年度の開催で第16回を数えることになりました。講座開催の目的は当初から変わらず「地域に住む外国人の方々に対し日本語を教えることのできるボランティアの養成」です。

一般に日本語教師となるための資格としては、言語学などを専攻した大学卒業者、「日本語教師養成講座420時間」修了者、「日本語教育能力検定試験」合格者という3つの要件のいずれかが求められることが多いですが、KIAではそれらの資格を持たない全くの未経験者であっても、本協会が主催する「日本語支援ボランティア養成講座」で全16時間の講座を受講修了すれば活動に参加できるようにしています。（もちろん、他の地域ボランティアなどで既に教えてきた経験がある方は資格の有無にかかわらず即戦力としてお誘いするケースもあります）

講座修了後、修了者はKIAの日本語教室で活動しなくても、それぞれがお住まいの市区町村で同様の日本語支援活動で活躍される方もおり、広くボランティア活動を志す仲間を増やすことにも貢献している活動でも考えています。

講師は、スタート当初からお願いしていた石沢弘子先生（目白大学教授*当時）から現在の木戸恵子先生（獨協大学講師）にバトンをつないでいただき、今も変わらず「情熱」と「楽しさ」溢れる講座を毎年続けています。

養成講座の企画運営体制は、2005年度発足当初から2018年度まで「日本語支援ボランティア養成講座実行委員会」として日本語教室部会の【昼】教室・【夜】教室から独立した委員会で担ってきていました。その体制を2019年度には【昼】・【夜】両教室の合同活動という体制に変えて組織の簡素化・運営の効率化を図るとともに、【昼】【夜】の日本語教室で実際に活動するスタッフの意見・要望をより多く取り入れながら養成講座の企画運営を図るようにしてきました。将来に向けて日本語教室スタッフの新戦力を養成していく重要な活動との認識をもって、今後も着実に継続していきたいと考えています。

コロナ禍の中で時代の要請から2020年度には、初のオンライン型講座を開催することにもチャレンジし、新しい講座の在り方を模索し始めました。オンライン開催となった2021年度はさらに、従来講座の中心に据えてきたテキスト「みんなの日本語」から他の教材にも少し視野を広げてみるなど、多様な学習者のニーズに対応できる技能習得にも目を向けることとしました。



2021年度養成講座を振り返って

2021年度の養成講座（2/26、3/5、3/12、3/19）はコロナ禍の影響で前年度に続き2度目のオンライン開催となり、受講者は28名でした。

前回の反省を踏まえ、今回は企画の段階で「養成講座開催の目的は何か？」ということに始まり、講座内容、運営方法、受付方法などについていろいろな観点から検討を行いました。

講座内容については現役スタッフを対象にアンケート調査を行い、両教室の現場の実態に即して教材を幅広くとりあげ、指導法なども複数紹介することとしました。さらに、応募受付態

勢については、新しく「こくちーず（イベント開催・集客支援サイト）」の利用にも取り組みました。

また、受講者に対する日本語教室の紹介についても、現役スタッフから生の声を届けたり、質問コーナーを設けた座談会を取り入れたりするなど改善を図りました。

講座終了後の受講者アンケート調査では、受講満足度が5点満点で全平均4.5と高評価を得ることができ、「この講座を受講してよかったと思いました」「講座のおかげで、ボランティアをやってみたくなりました」など積極的な感想もたくさん寄せられました。

● 日本語支援ボランティア養成講座：実施概要 ●

回数	年度	受講者数 (受講料を支払った方)
第8回	2012年度	35名
第9回	2013年度	42名
第10回	2014年度	16名
第11回	2015年度	28名
第12回	2016年度	19名
第13回	2017年度	35名
第14回	2018年度	23名
※ 2019年度は実施に向け募集まで行ったが、コロナ禍により中止（応募者26名）		
第15回	2020年度	24名
第16回	2021年度	28名

- 開催日数は、各年度とも計4日間。
(2月から3月の4連続毎土曜日。1日2講座、全8講座を開催)
- 会場は、第8回から第14回までは東京経済大学の教室を利用。第15回と第16回は新型コロナ感染拡大防止のためオンラインにて開催。
- 講師は、第10回までは石沢弘子先生、第11回から木戸恵子先生。
- テキストは、第16回まで「みんなの日本語 初級Ⅰ」を使用。

● 【昼】教室・【夜】教室の総スタッフのうちの養成講座修了者数(2022年3月末在籍者) ●

	総スタッフ数	うち養成講座修了者数
日本語教室【昼】	11名	4名
日本語教室【夜】	38名	11名



日本語教室部会： 日本語教室【昼】

時間：毎週金曜日 10時から12時

場所：本多公民館(国分寺市本多1丁目)

はじめに

近年、仕事を求めて日本にやって来る外国の方も増え、私たちの周りでよく見かけるようになりました。日本語教室発足から30年、外国の方に日本語を教えるという私たちの役割はますます大きくなっています。

この10年、平均11名のスタッフで、11か国からの学習者24名に授業を行いました。

日本語教室を立ち上げ、その後も活動に携わってきた全てのスタッフに感謝します。これからも地道な活動を継続していきたいと思いません。

現スタッフ（11名）への質問とその回答、学習者からの寄稿文を紹介します。

※10月・11月10日・12月20日・1月30日・2月14日・3月5日・4月23日・5月13日・6月10日・7月18日・8月15日・9月12日・10月10日・11月18日・12月16日・1月14日・2月11日・3月10日・4月8日・5月6日・6月4日・7月2日・8月1日・9月1日・10月1日・11月1日・12月1日

スタッフの声

スタッフへの質問

- ① 日本語を教えようと思ったきっかけは何ですか。
 - ② 日本語を教える方法をどのように学びましたか。
 - ③ 感想など一言
- () 内は在籍年数 2021年12月現在

小田 一秀（4年8か月）

- ① KIAの活動内容紹介を見て。
- ② KIA日本語支援ボランティア養成講座、日本語教師養成講座420時間
- ③ 毎週金曜の授業で日本語を教えるかたわら、毎年開催するボランティア養成講座を企画・運営することに4年間携わっています。修了者の何人かが新スタッフになって仲間が増えていくのが嬉しいです。

扇谷 亜希（6年半）

- ① 学生の頃のアルバイトの家庭教師で生徒が志望校に合格できた時の喜びが忘れられず、教育という現場に立ちたいと思って。
- ② 日本語教師養成講座420時間
- ③ 「あげる」「もらう」を学習した翌週に学習者から「先生お菓子をあげます」といただいたのが印象に残っています。授業で教えた事を使っていただけなのは嬉しく思いました。



2019年3月 授業風景

西條 淳子 (2年半)

- ① 空の巣症候群に陥った時期に、日本語を教えるボランティア活動を知って。
- ② 国際交流協会の養成講座
- ③ 一年の始まりは「書初め」！ 学習者はお手本をみながら真剣に取り組み、大切に作品を持ち帰ります。日本文化に触れる貴重な時間をこれからも大切にしたいと思います。



2021年1月 特別授業 書初め

清水 博史 (8年9か月)

- ① 海外駐在中に現地でお世話になったので、日本に住む外国の方の力になればと思って。
- ② KIA日本語支援ボランティア養成講座
- ③ 学習者が日本語と日本文化に少しでも親しめるように、楽しく教えています。当初、先輩スタッフから厳しく指導されたことを感謝しています。

原 章二郎 (1年弱)

- ① 日本人指導者に日本語を学んだ中国人スタッフと仕事を共にし、とても助けられた経験。
- ② 中央区の日本語指導者養成講座と日本語教育能力検定の受験勉強（独習）
- ③ 毎週の教室で学習者の皆さんの勉強熱心と明るさにふれて元気をもらっています。皆さんが日本語を体得する手助けになれば嬉しいです。



2017年12月 特別授業 年賀状作成

高橋 晴美 (7か月)

- ① 留学時に助けて下さった方々への感謝の気持ちがきっかけです。
- ② 日本語教師養成講座420時間
- ③ 学習者の皆さんが大変熱心であることが、私の大きなモチベーションとなっています。また、適切な医薬情報を外国人の方々へ提供する活動にも興味を持っています。

中山 裕見子 (7年)

- ① 人のために何か役に立つことがしたかった。
- ② KIA日本語支援ボランティア養成講座
- ③ 教えてみて日本語は本当に難しい言語だと思いました。



2017年11月 国際交流フェスタの日本語スピーチに参加した学習者



2014年5月 特別授業 殿ヶ谷戸庭園にて

松尾 敏子 (1年3か月)

- ① 海外在住時に現地語で苦労したため、地域に住む外国人の日本語をサポートしたいと思いました。
- ② 日本語教師養成講座420時間
- ③ 多様化する学習者が地域社会と繋がることができるよう、コミュニケーションも大切にして楽しく日本語を学習できるよう心掛けたいと思います。

山本 順子 (3年)

- ① 国分寺に多くの外国人の方々が生活されている事を知って、何かお手伝いをさせていただけたらとの思いから。
- ② KIA日本語支援ボランティア養成講座
- ③ 教室に通い始めた当初、教案作りから始まりアドバイスをいただいた先輩スタッフの方々に感謝しています。今は、楽しく日本語を学べる時間を学習者さん達と過ごしたいと思っています。

2016年7月 スピーチ大会「ふるさとの祭り」

森 澄子 (10年)

- ① 定年間近、退職後のやり甲斐を模索して。
- ② 民間の通信教育を終了
- ③ 東日本大震災直後、学習者の数が激減し教室に行っても授業のない日が数か月続きましたが、その後多くの学習者さんと出会い、別れ、豊かな体験をさせていただいた10年でした。



2018年5月 特別授業 サントリー-武蔵野工場

三浦 幹 (9年)

- ① 海外留学中、語学を学ぶ楽しさと同時に教えることへの興味を持ったことがきっかけです。
- ② 日本語教師養成講座420時間
- ③ 大勢の学習者やスタッフとの出会いがありました。互いに支え合い、成長を喜び、毎週充実した時間を過ごさせていただいたことに感謝しています。



学習者の声

「外国人ママとして」

フォーガール・パンワディー

タイから東京に来て5年です。カナダ人の夫と小学校へ通う二人の子供の4人家族です。子供が幼稚園の時は送り迎えやお弁当作り、いま小学校ではPTAの仕事や色々な活動があって、外国人ママの私には大変！ 私の日本語もKIAで少しずつ向上していますが、学校の書類や子供の宿題をみるのは時間がかかります。日本の習慣、学校の事に戸惑うことがまだまだ多いですが、いろいろな国際ボランティアの方々やママ友に助けられて、外国人ママも楽に暮らせるようになりました。



2022年1月 特別授業 書初め参加者集合写真

「私の第二の家」

韓淑娟 (カン・シュクエン)

国分寺市国際協会の日本語教室は、私にとってはまるで第二の家のような感じです。日本語教室では、ボランティアの先生が日本語を教えるだけでなく、日本の習慣や礼儀など様々なことまで教えてくださいます。教室ではいろいろなイベントがあるし、いつも教室を楽しんでいます。

日本に来た時は日本語がまるで分らなかったで、つまらない毎日でした。実は日本でどうやって生活していけばよいか、毎日呆然としていました。日本語教室に入ってからは、先生は皆さん親切で、発音から勉強が始まりました。だんだんと日本語が話せるようになり、先生のおかげで日本語の能力試験N2も取得出来ました。日本人の友達もできるようになり、いまでは毎日楽しんで生活しています。

公民館が私の生活において不可欠な存在になりました。

日本語教室【昼】は、2020年、世界で猛威を振るう新型コロナウイルスにより3か月の休講を余儀なくされました。この年の6月からはオンライン授業を再開し、2021年度もオンラインと対面（教室）を交えて授業を続けました。

2021年10月 オンライン授業



日本語教室部会： 日本語教室【夜】

時間：毎週水曜日 19時から21時

場所：福祉センター(国分寺市戸倉4丁目)

日本語教室【夜】について

増井 信

毎週水曜日19時～21時、国分寺市戸倉にある福祉センター3階第一会議室で開催しています。学習スタイルは個別学習を原則として学習者のニーズに対応しています。学習者のレベルは入門、初級から日本語能力試験上級合格者まで幅広いです。

この教室はスタート当初より「外国人の日本語学習を支援するとともに、学習を通して異文化の相互理解と人的交流を深めること」を目的としています。現在の言葉に置き換えれば「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性・包摂性）を尊重すること」でしょうか。そのために通常の学習以外に日本の伝統行事を紹介したり懇親の場を設けたりしています。また情報紙「かけはし」を年2回発行しています。



毎年12月に催しているお楽しみ会の様子



各テーブルに分かれ、ペアで学習する学習者さんとスタッフ

学習者はその時の経済状況によって異なりますが、留学生、技能実習生、特定技能者、会社員、主婦、日本人の配偶者及びその家族、高校生などの構成となっています。国籍は20か国近くに及びます。2011年の震災直後は多くの学習者が帰国しましたが、その後徐々に増えて総勢30人前後となっています。新型コロナ発生前はベトナムからの実習生やIT技術者の参加が大変多く、一人のスタッフが3人の学習者と学ぶ事態もありました。

そして感染が拡大し教室が閉鎖となり、2020年4月からはオンラインでの学習を始めました。そのオンライン学習も今ではスタッフの努力により順調に進められています。

この日本語教室が春夏秋冬、国分寺市に在住、在勤する外国人にとり、家でも会社でも学校でもない【ほっとひとときを過ごせる場】として日本語を通して相互理解が深まれば幸いです。

情報誌「かけはし」

清水仁子

国際協会歴代の職員の皆さまには、教室発足
当時から現在に至るまで、様々な面でご協力い
ただきまして大変感謝いたしております。

日本語教室【夜】は1992年11月に旧市役所
プレハブ会議室からスタートいたしました。そ
の3年後に“学習者とスタッフの情報誌”とし
て「かけはし」第1号が誕生いたしました。

初期の頃はスタッフの皆さんで試行錯誤を重
ね、苦心して作り上げたのを覚えております。
各号の「かけはし」を見返してみますと、当時
在籍していた学習者さんやスタッフの皆さんの

国分寺市国際協会 日本語教室・夜間 学習者とスタッフの 情報誌(年2回刊)	<h1>かけはし</h1>	第53号 (2022年度 春季) 2022年2月発行
おん ふ かせ 2021年を振り返って		< 今回の 内容 >
<p>今年はおんさんにとって素晴らしい年になるようにお祈りします。 昨年はおんさんから緊急事態宣言が発令されました。その後もまん延 防止等重点措置と交互に繰り返されるなど、なんでもない「ふつう の日」がわずかしかなかった。9月末にようやく緊急事態 宣言が解除され、10月から日本語教室を開くことができました。失 しぶりに会う学習者やスタッフの元気な姿を見てとても嬉しく思 いました。</p> <p>残念なのは、2年続けて教室の行事活動がまわることができなかったことです。おいしい料理をたくさん並べた</p>		<p>★ 独占インタビュー</p> <p>★ 特集 「オンラインの集いに参加して」 「21年の振り返りと22年への思い」</p> <p>★ 新しいスタッフ紹介</p>

写真や作文、座談会等、また当時の活気に満ち
た教室風景や七夕、雛祭りなどの各行事の感想
などが掲載され、大変懐かしく思い出されます。

2021年6月、コロナ禍で大変な中、第52号
が発行されました。これからも皆さまに愛され、
親しまれる「かけはし」を作っていきたいと
思っております。

[#10th](#) > [#110th](#) > [#120th](#) > [#130th](#) > [#140th](#) > [#150th](#) > [#160th](#) > [#170th](#) > [#180th](#) > [#190th](#) > [#100th](#) > [#110th](#) > [#120th](#) > [#130th](#) > [#140th](#) > [#150th](#) > [#160th](#) > [#170th](#) > [#180th](#) > [#190th](#) > [#200th](#) > [#210th](#)

自分の成長も続けたい。

ルズリアガ・エミリオ(アメリカ出身)

日本語教室の好きなところはみんなが優しいと
ころです。同じ趣味や目的を持っている人たちな
ので、友だちになりやすいコミュニティができて
います。先生たちと仲良くできるのはもちろん、
日本語を勉強している人たちともよく話すとき
な気持ちになります。

さらに、日本で育っていない私にとってもよい
経験をしています。七夕とか、ひな祭り、節分、
年末お楽しみ会などを一緒に楽しみました。もち
ろん、新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣
言中には普通の授業が中止されましたが、教室で
出会った友人とネットで話しています。これから
も、もっと日本語を勉強したい、たくさんの友だ
ちを作りたい、自分の成長も続けたいと思います。



広報部会

協会報「地球家族」- 100号を突破

広報部会のメインの活動は、KIAの活動を紹介する協会報「地球家族」を出すことです。創刊はKIA創立翌年の1992年の2月で、おおよそ年に4回発行してきています。

10年前の2012年7月には87号を発刊。2016年7月には、100号記念として、紙質も良くしたカラー印刷・16ページ立ての特集号を出しました。



「地球家族」100号表紙（2016年7月）

廃部の危機を克服、広報部会再発足

2016年度に100号を発刊した後、広報部会は人手などの問題で事実上廃部に陥りました。この事態を受け、当時の運営委員長であった廣田昌子さんを長とする「地球家族編集会議」が設置されました。この年にも途切れることなく101号、102号の「地球家族」を出すことができたのは、この臨時体制のお陰です。

翌2017年度から廣田さんを長として広報部会が再発足し、6月に103号を出すことができました。

「地球家族」のリニューアル、印刷節減

「地球家族」は2019年7月発行の111号から、リニューアルと印刷費用の節減に取り組みました。それまでの「地球家族」の通常の号はモノクロ印刷でしたが、できるだけ目につくものにするためにカラー印刷に変え、デザインも大きく刷新しました。そのために、印刷はより安価なネット印刷とする一方、ページ数は試行的にそれまでの4ページから2ページへと縮小、また会員へのメール配信を拡大するなど印刷・配布部数の削減なども行いました。



「地球家族」リニューアル111号表紙（2019年7月）

世界の家庭料理を楽しむ会

代表 増田加代子

22年間の多くの出逢いに感謝

このサークルは、KIA創立5周年に会員向けに行ったアンケート調査で、世界各国の料理や文化を知り、それぞれの国の人と交流したいという声が多くに上がったことから発足。1997年7月から2019年11月の22年間にわたって97回開催され、延べ4,013人の人たちが参加。世界57か国、325種類のメニューの家庭料理づくりを通して、各国の人たちとの親睦を深め、異文化交流を促進してきました。サークルの人氣は高く、毎回参加者は抽選になるほどの盛況をおさめました。



ウクライナ料理でのオペラ歌手オクサーナさんとお子さん

開催して良かった点

- 日本にいながらして世界各国の家庭料理のつくり方を学び、試食できたこと
- 外国人の方が、料理教室を通して自国の食文化を日本人たちに伝えられたと喜ばれたこと
- 幅広い年齢層の方に参加いただき、交流を深められたこと
- 国際交流フェスタで試食が人氣を呼んだこと

開催して大変だった点

- 外国人講師の確保
- 50人分の材料の購入と運搬。また、日本にない材料の確保
- 試食会後に行うレシピづくり
- 参加申し込みが多いことによる毎回の抽選作業

人気の国の料理 ベスト10

- | | |
|---------|-------------|
| ① ハンガリー | ⑥ 日本（おせち料理） |
| ② スペイン | ⑦ トルコ |
| ③ ベトナム | ⑧ 韓国 |
| ④ ロシア | ⑨ イタリア |
| ⑤ タイ | ⑩ ネパール |

外国人講師の職業

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ① 留学生（大学院・大学・専門学校など） | ⑤ 大使館シェフ |
| ② レストランオーナー | ⑥ 日本人と国際結婚した配偶者 |
| ③ 料理教師 | ⑦ 音楽家（オペラ歌手・アコーディオン奏者など） |
| ④ 大使夫人 | ⑧ 外国語学校教師 |

珍しい国の料理 ベスト10

- | | |
|---------|---------|
| ① ブータン | ⑥ エジプト |
| ② ハンガリー | ⑦ ミャンマー |
| ③ トンガ | ⑧ レバノン |
| ④ スイス | ⑨ セルビア |
| ⑤ ポーランド | ⑩ タンザニア |

おわりに

2年間を超えるコロナ禍で、料理教室の開催が難しくなり、残念ながら97回をもって会は幕を閉じることにしました。講師の皆さん、ご参加いただいた皆さん、ご協力いただいた皆さんに御礼申し上げます。22年間での多くの皆さんとの思い出深い出逢いに感謝の念が絶えません。ありがとうございました。

国際協会合唱団

代表 織井恵美子

結成以来の師、市瀬寿子さん（KIA会員）のご指導の下大きく合唱団は飛躍いたしました。国分寺市音楽連盟主催の国分寺市民文化祭（音楽祭）には毎年参加しております。作曲者、作詞者の気持ちを理解し、美しいハーモニーが演奏できるようになったのは一重に先生のご指導の賜物です。2014年国分寺市制施行50周年記念コンサートには、国分寺フィルハーモニー管弦楽団、国分寺市立中学合同バンドと共に他の合唱団と一緒に参加いたしました、その折にはソプラノソリストとして以前日本語教室【夜】に在室したオクサーナ・ステパニユックさんが参加しました。

また、「世界平和コンサートへの道」（指揮者：柳澤寿夫氏 国分寺市在住）バルカン室内管弦楽団日本公演に参加、国分寺市にお住まいだった故信時潔氏「日本の心音楽祭」に参加など他の合唱団の皆さまと交流を深めております。メサイア、第九、レクイエム、テ・デウム、大地讃頌など、難易度の高い歌曲にも挑戦できました。KIA総会や国際交流フェスタには皆さまの前でご披露しております。

練習日：

第2・第4金曜日 14時から16時

場所：本多公民館(国分寺市本多1丁目)

2022年6月「結成20周年記念コンサート」をいずみホールで行う予定です。コロナ禍のため2020年行う予定でございましたが2年延期になってしまいました。が、団員はめげずに練習に励んでおります。音楽祭はJ:COMが放映してくれますのでKIAの宣伝に一役担っているかと自負しております。明るく楽しい混声合唱団です。



10年の歴史

2012年度

- ・「外国籍保護者のための小学校入学案内」作成、外国籍保護者のための小学校入学ガイダンス開始（ガイダンスは、2019年度まで実施）
- ・ KIA入会説明会実施

2013年度

- ・ 陣内良昭(東京経済大学教授)6代目会長就任
- ・ 交流部会と協力支援部会を統合
- ・ 姉妹都市締結20周年記念マリオン市代表団が来日、歓迎行事実施
- ・ 「親子日本語サロン」開始
- ・ 「外国にルーツのある児童・生徒の日本語・学習サポーター養成講座」開始

2014年度

- ・ 本多公民館異世代交流事業へ協力「世界をEnjoy!! 10か国の人と交流しよう」開始
- ・ 中国語講座開始
- ・ マリオン市ルイス市長歓迎昼食会
- ・ 姉妹都市交流講演会開催 講師：豪マリオン市在住ハレットコウヴ高校元校長ピーター・レベレンツさん(2015年度も実施)

2015年度

- ・ 役員会・運営委員会合同会議実施：KIAの今後のあり方について検討。「国分寺市国際協会 今後のビジョン」作成(2016年度に市へ提出)
- ・ 東京経済大学留学生インターンシップ(韓国人学生2名)を10日間受け入れ
- ・ 福祉センターまつり参加・協力(以降、毎年参加。ただし、20年度、21年度は新型コロナ感染拡大防止のため開催中止)

2016年度

- ・ 「創立25周年のあゆみプロジェクト」発足 記念パンフレット発行、動画作成
- ・ 協会報「地球家族」100号発行
- ・ 「地球家族編集会議」発足(12月)
- ・ 「広報部会再生検討チーム」ミーティング実施。広報部会再生について検討(2017年度より広報部会再結成)
- ・ 英会話教室「成人クラス」「子どもクラス」開始
- ・ 国分寺青年会議所「Bunji Global Festa」に参加協力
- ・ 防災まちづくり学校「外国人と防災」へ協力(以降毎年協力)
- ・ 姉妹都市交流食事も・交流会実施
- ・ 日本語地域連携連絡会「世界の読書文化－私の好きな一冊－」開催(東京都教育委員会と共催)

2017年度

- ・ 若尾良男(東京経済大学教授)7代目会長就任
- ・ 事務局長若島礼子退任 新事務局長に押味亜希子就任(現在に至る)
- ・ 「ニュースで学ぶリアルな英会話」開始
- ・ 国立大学法人東京学芸大学国際教育センターとの連携・協力に関する協定書締結
- ・ 書籍「はじめよう！ ボランティア」(廣済堂あかつき)取材 ※取材記事が掲載される

● 2016年：KIA創立25周年を迎える

KIAが創立25周年を迎えた2016年、「創立25周年のあゆみプロジェクト」が発足。周年記念パンフなどの企画・制作を行いました。

The image shows a colorful commemorative pamphlet for KIA's 25th anniversary. It features the KIA logo at the top right, a large '25th' graphic at the bottom right, and a central globe surrounded by icons representing various activities. The text is organized into several columns and sections, including:

- 2012年～2016年のあゆみ**: A timeline of activities from 2012 to 2016, such as the 20th anniversary of sister city ties with Marion, the start of English classes, and the formation of the 25th anniversary project.
- サークル活動**: Information about various clubs and their activities.
- 国際協会役員**: A list of board members and their roles.
- 賛助会員**: A list of sponsors and supporters.
- 全体**: General information about the association.
- 外国人**: Information for foreign members.
- 2016年**: A section dedicated to the 25th anniversary activities, including the 'あゆみプロジェクト' and the commemorative book.
- 2015年**: Information about the 2015 activities.
- 2014年**: Information about the 2014 activities.
- 2013年**: Information about the 2013 activities.
- 2012年**: Information about the 2012 activities.
- 2011年**: Information about the 2011 activities.
- 2010年**: Information about the 2010 activities.
- 2009年**: Information about the 2009 activities.
- 2008年**: Information about the 2008 activities.
- 2007年**: Information about the 2007 activities.
- 2006年**: Information about the 2006 activities.
- 2005年**: Information about the 2005 activities.
- 2004年**: Information about the 2004 activities.
- 2003年**: Information about the 2003 activities.
- 2002年**: Information about the 2002 activities.
- 2001年**: Information about the 2001 activities.
- 2000年**: Information about the 2000 activities.
- 1999年**: Information about the 1999 activities.
- 1998年**: Information about the 1998 activities.
- 1997年**: Information about the 1997 activities.
- 1996年**: Information about the 1996 activities.
- 1995年**: Information about the 1995 activities.
- 1994年**: Information about the 1994 activities.
- 1993年**: Information about the 1993 activities.
- 1992年**: Information about the 1992 activities.
- 1991年**: Information about the 1991 activities.
- 1990年**: Information about the 1990 activities.
- 1989年**: Information about the 1989 activities.
- 1988年**: Information about the 1988 activities.
- 1987年**: Information about the 1987 activities.
- 1986年**: Information about the 1986 activities.
- 1985年**: Information about the 1985 activities.
- 1984年**: Information about the 1984 activities.
- 1983年**: Information about the 1983 activities.
- 1982年**: Information about the 1982 activities.
- 1981年**: Information about the 1981 activities.
- 1980年**: Information about the 1980 activities.
- 1979年**: Information about the 1979 activities.
- 1978年**: Information about the 1978 activities.
- 1977年**: Information about the 1977 activities.
- 1976年**: Information about the 1976 activities.
- 1975年**: Information about the 1975 activities.
- 1974年**: Information about the 1974 activities.
- 1973年**: Information about the 1973 activities.
- 1972年**: Information about the 1972 activities.
- 1971年**: Information about the 1971 activities.
- 1970年**: Information about the 1970 activities.
- 1969年**: Information about the 1969 activities.
- 1968年**: Information about the 1968 activities.
- 1967年**: Information about the 1967 activities.
- 1966年**: Information about the 1966 activities.
- 1965年**: Information about the 1965 activities.
- 1964年**: Information about the 1964 activities.
- 1963年**: Information about the 1963 activities.
- 1962年**: Information about the 1962 activities.
- 1961年**: Information about the 1961 activities.
- 1960年**: Information about the 1960 activities.

2018年度

- 9月：KIA事務所移転
(福祉センター → ひかりプラザ)
- 11月：KIA、国分寺市より表彰（「国際交流功労」）
- 恋ヶ窪公民館主催「こいがくぼ国際教室」開始運営へ協力
- 公式Facebook〔@1991kia〕立ち上げ
- 国分寺市共催cocobunjiプラザ開館記念イベント「世界の音楽と踊り」開催
- 国分寺市ラジオ体操動画撮影へ協力
(東京オリンピック・パラリンピック関連)

2019年度

- 国分寺市より表彰（会員の増田加代子さん、遠藤恭子さん：「国際交流功労」）
 - ホームページリニューアル
<https://www.1991kia.jp/>
 - 休止中の「ウェルカムサロン」を交流支援部会企画として再開
 - 「日本語支援ボランティア養成講座－日本語指導法研修会」：協会全体活動から、日本語教室【昼】・【夜】合同企画へ変更
- ※ 新型コロナ感染拡大防止のため、日本語支援ボランティア養成講座は中止

2020年度

- 新型コロナ感染拡大防止のため、各種活動の変更・中止を余儀なくされる
→ 総会等の会議は書面、オンラインを活用しながら実施。日本語教室・語学教室はオンラインや対面・オンラインの併用で継続。国際交流フェスタはじめオンライン実施が困難な各種講座・イベントは中止 等
- 国分寺市の新型コロナウイルス感染症緊急対策事業の一環として、通訳、翻訳、小中学校へのサポーターの派遣などの活動を実施
- オンライン会議ツール使い方講座「"Zoom"の使い方講座」実施
- 「日本語支援ボランティア養成講座」オンラインで実施
- 「日本語教室オンライン・スピーチ大会」実施。YouTubeで配信
- 広報部会：「国分寺市の『国分寺』物語」を制作・ホームページで公開

2021年度

- 小田登志子(東京経済大学准教授)8代目会長就任
- 国分寺市から依頼の通訳、翻訳、小中学校への日本語学習サポーター派遣が委託事業となる
- 協会報「地球家族」(Vol.118)「創立30周年記念特集号」を11月に発行

● 2018年9月：KIA事務所、ひかりプラザに移転

KIA事務所は2008年から福祉センター（国分寺市戸倉4丁目）1階にありましたが、2018年9月にひかりプラザ1階へ移転しました。

同プラザには、教育委員会関連の部署や、本協会の市担当課である人権平和課が入っており、より一層連携を深めて活動に取り組んでいます。



ひかりプラザ1階の
KIA事務局

● 2018年11月：KIA、市より表彰を受ける

市では、市政に功労等があった個人、団体を毎年表彰しており、KIAは長年国際交流などの発展に尽力したとして、国際交流功労（国際交流団体として国際交流等の発展に尽力）の分野で表彰されました。

また、2019年には会員の増田加代子さん、遠藤恭子さんが同分野で表彰されました。



表彰状を授与される
KIA若尾良男会長(当時)

10年の歴代役員

※ 役員の内任期は2年。2人の氏名の記載があるのは、1年で交代し、2人で2年の任期をつとめた役員。

2012年度		
会長	橋谷 弘	学校法人 東京経済大学
副会長	村松 眞貴子	国分寺市教育委員会
副会長	野崎 博多	KIA外国語部会
理事	篠原 澄江	東京国分寺ロータリークラブ
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	廣瀬 可世子	国分寺市商工会
理事	富田 潔	国分寺市観光協会
理事	増田 加代子	国分寺の名にふさわしい文化都市を築く会
理事	松本 幹郎	KIA交流部会
理事	竹内 準	KIA日本語教室部会
理事	河西 千廣	KIA国際理解部会
理事	嶺 仁	KIA広報部会
理事	長谷川 正博	KIA協力支援部会
会計	進 万佐子	国際ソロプチミスト国分寺
会計	山口 誠	東京国分寺ライオンズクラブ
監事	堀 湛浩	国分寺市文化団体連絡協議会
監事	土井 満春	国分寺青年会議所
参与	加藤 美智子	国分寺市市民生活部長

2013-14年度		
会長	陣内 良昭	学校法人 東京経済大学
副会長	高橋 道子	国分寺市教育委員会
副会長	廣田 昌子	KIA日本語教室部会
理事	近藤 裕	東京国分寺ロータリークラブ
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	廣瀬 可世子	国分寺市商工会
理事	富田 潔	国分寺市観光協会
理事	増田 加代子	国分寺の名にふさわしい文化都市を築く会
理事	松本 幹郎	KIA交流支援部会
理事	犬塚 淑子	KIA外国語部会
理事	河西 千廣	KIA国際理解部会
理事	朝倉 さく	KIA広報部会
会計	永原 誠子/ 市瀬 寿子	国際ソロプチミスト国分寺
会計	東迎 高善	東京国分寺ライオンズクラブ
監事	堀 湛浩	国分寺市文化団体連絡協議会
監事	花沢 健太郎	国分寺青年会議所
参与	中村 秀雄/ 水越 敏夫	国分寺市市民生活部長

2015-16年度		
会長	陣内 良昭	学校法人 東京経済大学
副会長	高橋 道子	国分寺市教育委員会
副会長	廣田 昌子	KIA日本語教室部会
理事	近藤 裕	東京国分寺ロータリークラブ
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	廣瀬 可世子	国分寺市商工会
理事	富田 潔	国分寺市観光協会
理事	増田 加代子	国分寺の名にふさわしい文化都市を築く会
理事	松本 幹郎/ 遠藤 恭子	KIA交流支援部会
理事	西谷 清	KIA外国語部会
理事	織井 恵美子	KIA国際理解部会
理事	朝倉 さく	KIA広報部会
会計	市瀬 寿子	国際ソロプチミスト国分寺
会計	田中 久	東京国分寺ライオンズクラブ
監事	堀 湛浩	国分寺市文化団体連絡協議会
監事	花沢 健太郎	国分寺青年会議所
参与	水越 敏夫/ 小川 恵一郎	国分寺市市民生活部長

2017-18年度		
会長	若尾 良男	学校法人 東京経済大学
副会長	高橋 道子	国分寺市教育委員会
副会長	長谷川 正博	KIA交流支援部会
理事	近藤 裕	東京国分寺ロータリークラブ
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	廣瀬 可世子	国分寺市商工会
理事	萩原 昌幸	国分寺市観光協会
理事	増田 加代子	国分寺の名にふさわしい文化都市を築く会
理事	木村 啓至	KIA日本語教室部会
理事	西谷 清	KIA外国語部会
理事	織井 恵美子	KIA国際理解部会
理事	飯田 勝人	KIA広報部会
会計	若島 礼子	国際ソロプチミスト国分寺
会計	師岡 繁行	東京国分寺ライオンズクラブ
監事	矢口 照雄	国分寺市文化団体連絡協議会
監事	花沢 健太郎	国分寺青年会議所
参与	小川 恵一郎	国分寺市市民生活部長

2019-20年度		
会長	若尾 良男	学校法人 東京経済大学
副会長	佐久間 博美	国分寺市教育委員会
副会長	長谷川 正博	KIA交流支援部会
理事	近藤 裕	東京国分寺ロータリークラブ
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	廣瀬 可世子	国分寺市商工会
理事	萩原 昌幸	国分寺市観光協会
理事	増田 加代子	国分寺の名にふさわしい文化都市を築く会
理事	石野 信子	KIA日本語教室部会
理事	西谷 清/ 中島 美智子	KIA外国語部会
理事	春名 勝次	KIA国際理解部会
理事	飯島 俊文	KIA広報部会
会計	織井 恵美子	国際ソロプチミスト国分寺
会計	師岡 繁行	東京国分寺ライオンズクラブ
監事	矢口 照雄	国分寺市文化団体連絡協議会
監事	花沢 健太郎	国分寺青年会議所
参与	小川 恵一郎	国分寺市市民生活部長

2021年度		
会長	小田 登志子	学校法人 東京経済大学
副会長	大木 桃代	国分寺市教育委員会
副会長	長谷川 正博	KIA交流支援部会
理事	近藤 裕	東京国分寺ロータリークラブ
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	廣瀬 可世子	国分寺市商工会
理事	増井 有真	国分寺市観光協会
理事	増田 加代子	国分寺の名にふさわしい文化都市を築く会
理事	中山 裕見子	KIA日本語教室部会
理事	織井 恵美子	KIA国際理解部会
理事	飯島 俊文	KIA広報部会
会計	久保田 友子	国際ソロプチミスト国分寺
会計	渡辺 才司	東京国分寺ライオンズクラブ
監事	矢口 照雄	国分寺市文化団体連絡協議会
監事	安東 周二郎	国分寺青年会議所
参与	小川 恵一郎	国分寺市市民生活部長

10年間の市在住外国人人数推移

■ 国分寺市の人口推移（人）

	国分寺市人口総数	日本人	在住外国人	外国人の割合(%)
2012年	117,021	115,354	1,667	1.42%
2013年	118,035	116,400	1,635	1.39%
2014年	118,697	117,022	1,675	1.41%
2015年	119,379	117,648	1,731	1.45%
2016年	119,940	118,102	1,838	1.53%
2017年	120,656	118,746	1,910	1.58%
2018年	121,673	119,585	2,088	1.72%
2019年	123,689	121,324	2,365	1.91%
2020年	125,170	122,598	2,572	2.05%
2021年	126,862	124,295	2,567	2.02%
2022年	127,792	125,266	2,526	1.98%

（上）国分寺市の在住外国人の数は2012年と比べると50%以上増え、割合も2%程度に達している。

（右）KIAの外国人会員数は市の在住外国人数の伸びほど増えてはならず、割合はおおよそ20%台で推移。

■ KIA会員数推移（人）

	会員総数	賛助会員	家族会員	個人会員		個人会員に占める外国人会員の割合(%)
				外国人会員		
2012年	270	8	11	251	(45)	17.93%
2013年	253	8	7	238	(45)	18.91%
2014年	305	9	12	284	(54)	19.01%
2015年	322	10	20	292	(62)	21.23%
2016年	323	10	16	297	(59)	19.87%
2017年	335	11	19	305	(73)	23.93%
2018年	353	11	22	320	(79)	24.69%
2019年	356	10	20	326	(79)	24.23%
2020年	330	10	13	307	(67)	21.82%
2021年	290	10	18	262	(53)	20.23%
2022年	285	10	19	256	(52)	20.31%

※ 国分寺市の人口推移は、国分寺市公表の「住民基本台帳人口及び世帯月別推移（毎年1月1日現在の数値）」による。

※ KIA会員数推移は、毎年3月31日現在。外国人会員（カッコ内の数字）は個人会員の内数。

■ 国分寺市在住外国人人数上位10か国・地域の推移（人）

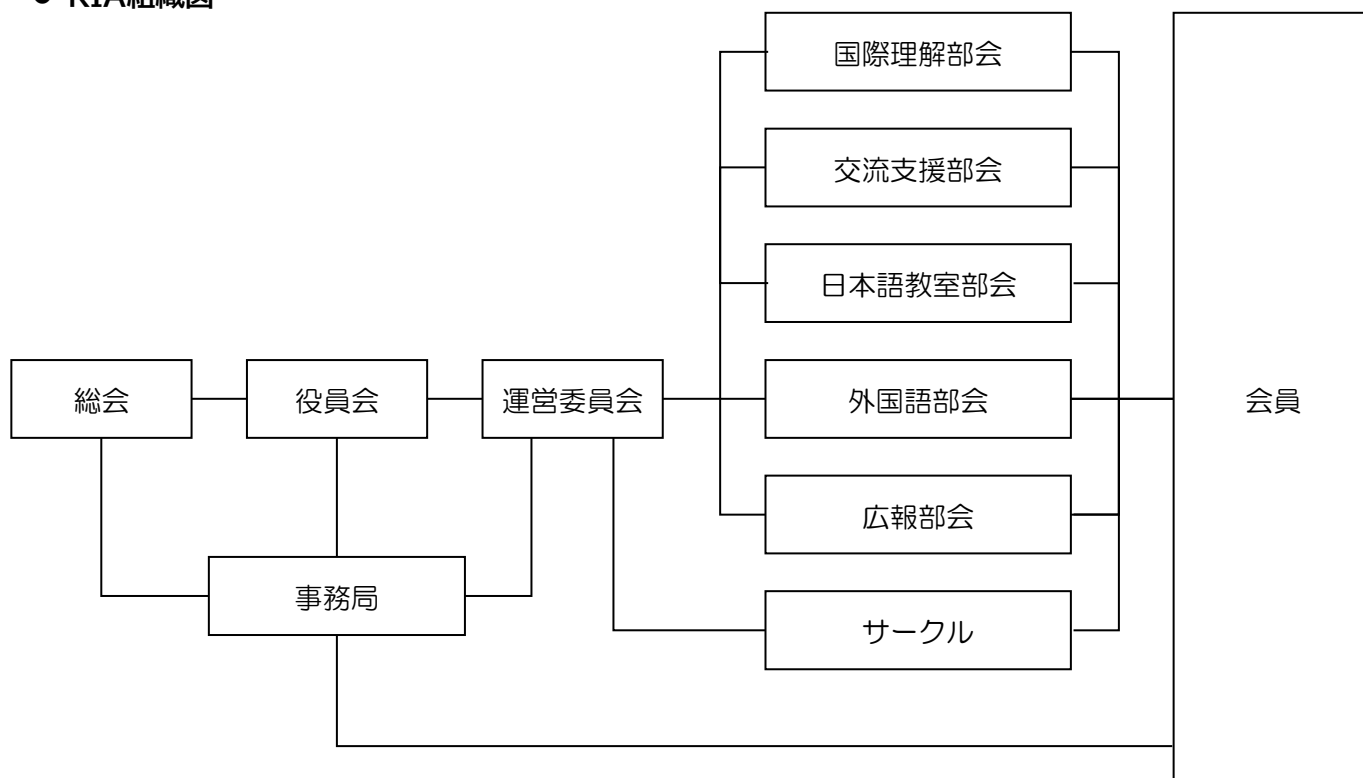
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
2012年	総数	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	米国	ネパール	ベトナム	英国	タイ/マレーシア	ブラジル	カナダ	その他
		1,667	726	439	114	77	42	24	23	18	16	15
2013年	総数	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	米国	ネパール	英国	ベトナム	ブラジル	マレーシア/カナダ	タイ	その他
		1,635	749	413	102	84	29	23	22	19	16	13
2014年	総数	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	米国	ネパール	ベトナム	英国	ブラジル	マレーシア/タイ/フランス	カナダ/オーストラリア	その他
		1,675	745	416	105	70	56	49	26	19	16	13
2015年	総数	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	米国	ベトナム	ネパール	英国	タイ	マレーシア/フランス	ウズベキスタン	その他
		1,731	782	412	97	68	61	57	26	19	16	15
2016年	総数	中国	韓国・朝鮮	ネパール	フィリピン	ベトナム	米国	ウズベキスタン	英国	マレーシア/タイ	カナダ	その他
		1,838	829	396	95	94	73	62	52	22	21	17
2017年	総数	中国	韓国	ネパール	フィリピン	ベトナム	台湾	米国	朝鮮	マレーシア	スリランカ	その他
		1,910	805	341	114	97	84	79	63	39	23	22
2018年	総数	中国	韓国	ネパール	フィリピン	ベトナム	台湾	米国	朝鮮	英国	フランス	その他
		2,088	895	357	160	102	93	82	64	39	27	26
2019年	総数	中国	韓国	ネパール	フィリピン	ベトナム	台湾	米国	朝鮮	インドネシア	フランス/英国	その他
		2,365	1,030	365	215	111	109	84	74	40	39	24
2020年	総数	中国	韓国	ネパール	ベトナム	フィリピン	台湾	米国	インドネシア	朝鮮	モンゴル	その他
		2,572	1,173	387	202	121	106	90	76	47	36	33
2021年	総数	中国	韓国	ネパール	ベトナム	フィリピン	台湾	米国	インドネシア	インド	朝鮮	その他
		2,567	1,198	370	192	129	107	85	78	39	33	31
2022年	総数	中国	韓国	ネパール	ベトナム	フィリピン	米国	台湾	インドネシア	朝鮮	インド	その他
		2,526	1,174	356	200	129	110	81	71	44	32	29

- ・ 国分寺市における在住外国人上位10か国推移では、2012年から中国、韓国が群を抜いての上位2か国。ただし、中国の増加傾向に対し、韓国は減少傾向。
- ・ この10年では特にネパール、ベトナムの伸長が著しい。「その他」も増加傾向にある。

※ 国分寺市在住外国人人数上位10か国・地域の推は、東京都公表の「区市町村、国籍・地域別外国人人口（上位10か国・地域、毎年1月1日現在の数値）」による。

組織・体制、年会費

● KIA組織図



● KIAの年会費

年会費	個人会員	家族会員	賛助会員 (*)
	2,000円	3,000円	30,000円

(*) 会社・団体等での入会の場合

賛助会員紹介

KIA賛助会員としてご協力いただいています。心から感謝申し上げます。

(敬称略・入会順)

- 多摩信用金庫 国分寺支店
- 公益財団法人 鉄道総合技術研究所
- 学校法人 東京経済大学
- 有限会社 井口葬儀店
- 一般社団法人 国分寺市医師会
- リオン株式会社
- 国際ソプロチミスト国分寺
- 東京国分寺ロータリークラブ
- 東京国分寺ライオンズクラブ
- 株式会社 日立製作所中央研究所

編集後記

懐かしい写真を発見。バトミントン交流会、富士山バスハイク、葡萄狩りの様子も写っている。雛壇を背景に活け花、お茶席、南京玉すだれに挑戦している留学生の姿、これは「伝統文化de交流」の様子。国際色豊かな顔ぶれ、スタッフも皆若い、そして皆笑顔。お国に帰られた皆様、お元氣かしら？ どこでもドアがあったら、今すぐ会いに行きたい。（安部まり子）

30年前にボランティア活動を立ち上げ、そして継続して下さった方々のエネルギーと活動の歩みを知ることができました。時代は変わり、女性の社会進出、定年延長など様々の要因でボランティアの担い手不足や高齢化が問題になっています。次の世代に引き継げるよう知恵を絞り、これからも温かな国際交流の場であり続けることを願っています。（西條淳子）

記念誌の制作がはじまったのは2021年5月で、このときの第1回編集会議は、前年春からの新型コロナウイルス感染防止対策のためオンラインでの開催でした。記念誌の編集を通じKIAのこれまでの10年をふりかえることは、会員の皆さんの創意や工夫、ご尽力による多彩な活動を展開するKIAを再発見することでもありました。こうした会員の皆さんの思いや熱意こそ、30周年という節目を新たな出発点として、KIAという貴重なボランティア活動の場をさらに楽しく、充実したものにしていこう

編集に携わるのは、人生初めての貴重な体験でした。委員の皆様大変お世話になりました。KIAの歴史・創立時から活動されている先輩の話を通して、たくさんの触発をいただきました。私とKIAの出会いは、2015年5月。日本語夜教室に参加し、早いもので丸7年になりました。本年、古希を迎えた私。40周年目指し頑張るぞ！！（東田恵子）

十年一日ならぬ三十年一日、KIAの過ぎし日々を振り返る機会が与えられ心より感謝申し上げます。この冊子はひとえに限られた予算の中、パソコンを駆使し編集、諸々の作業を進めて下さった遠藤、藤原両氏のお陰によるものと合わせて深謝いたします。これから四十、五十年先、KIAが地域、さらに全世界に貢献、発展する事を祈念いたしております。（松方晃子）

はないかと確信しています。

最後に、常日頃からKIAの活動を支えていただいている事務局の押味さん、藤原さんには、編集委員長をつとめた私を大いに助けていただきました。無事ゴールまでたどりつくことができたのは、事務局の働きはもちろん、委員の皆さんをはじめ、ご協力いただいた部会の皆さんのお陰に他なりません。心から感謝申し上げます。（遠藤芳信）

国分寺市国際協会(KIA) 創立30周年記念誌

発行日 2022年7月7日

編集・発行 KIA創立30周年記念誌編集委員会

編集委員 安部まり子(交流支援部会) 遠藤芳信(広報部会) 西條淳子(日本語教室【昼】) 東田恵子(日本語教室【夜】) 松方晃子(国際理解部会)

事務局 (押味亜希子 藤原由樹)

発行所 国分寺市国際協会 (KIA : Kokubunji International Association)

〒185-0034 東京都国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ1階

TEL : 042-505-6132 FAX : 042-505-6138

E-mail : info.kia@kvp.biglobe.ne.jp

URL : <https://www.1991kia.jp/>

KIA 国分寺市国際協会
KOKUBUNJI International Association

Since 1991